

1. 事業構想評価

(1)事業構想「目標を定量化する指標」の達成状況

達成状況																				備 考	
目 標	メニュー		指 標	開始 年度	目標 年度	1年目(開始年度)			2年目			3年目			4年目			5年目			
						目標値	実績値	達成率	目標値	実績値	達成率	目標値	実績値	達成率	目標値	実績値	達成率	目標値	実績値		達成率
安定供給 体制の整備 推進	間伐材生産		間伐材生産経費(円／㎡) の減少率	H30	R4	-	-	-	1	-	-	3	-30	-1011%	4	-7	-167%	5	-12	-247%	
	高性能林業機械等の整備		労働生産性(㎡／人・日) の増加率	H30		11	107	973%	12	38	321%	13	18	138%	14	40	284%	15	46	307%	
木材利用 及び木材 産業体制 等の整備 推進	木材加工流通施設等の整備		地域材利用量(㎡)の増加 率	R1		1	169	16887%	3	191	6371%	6	253	4220%	8	165	2062%	-	-	-	
	木造公共建築物等の整備	木造化(補助率1/2以内)	事業費当たりの木材利用 量 (㎡／百万円)	R3		2	0.8	42%	2	0.8	42%	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
		木造化(補助率15%以内)		-		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-					
		木質化		-		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-					
	木質バイオマス利用促進施設の整備	未利用間伐材等活用機材整備		-		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-		
		木質バイオマス供給施設整備	事業費当たりの木質バイオ マス利用量(㎡／百万円)	H30		20	278	1390%	20	244	1221%	20	346	1729%	20	285	1427%	20	86	430%	
		木質バイオマスエネルギー利用 施設整備		R2		2	3	137%	2	3	159%	2	3	174%	-	-	-	-	-	-	

(注)

- 「達成状況」には、各年の目標値、実績値及び達成率(各年度の実績値/各年度の目標値)を記載すること。
- 報告年度については、要領第6の1に基づくこと。
- 各メニューの達成状況における、目標年度の目標値には下線を引くこと。
- 目標値及び実績値のうち、該当がない年度は、「-」を記入すること。
- 天災又は自己の責に帰さない事由による火災等が理由で、達成率が著しく低いと判断されるメニューについては、本報告における評価対象外とする。
なお、該当するメニューについては、本報告に準じ別途達成状況表を作成することとし、その理由を記載すること。

2 . 全体評価

(1)全体指標の達成状況

目標	メニュー	全体指標	現状値			目標値			目標年度の報告			備考
			数値	単位	年度	数値	単位	年度	実績	達成率 (%)	年度	
安定供給体制の整備推進	高性能林業機械等の整備	素材生産量(目標値)	420	千m³	H30	574	千m³	R5	608	106%	R5	R5県実績 R6.10.31
		素材生産性(目標値)	6.3	m³/人日	H30	7.6	m³/人日	R5	6.5	86%	R5	R5県実績 R6.10.31
森林資源の保護	森林環境保全の推進	初期消火資機材の配備地区数	3	地区	R4	4	地区	R5	3	75%	R5	R5県実績 R6.10.31
林業経営体の育成	林業経営体育成対策 (林業機械リース支援)	素材生産量(目標値)	512	m³	R4	550	m³	R5	608	111%	R5	R5県実績 R6.10.31
		素材生産性(目標値)	5.6	m³/人日		5.9	m³/人日		6.5	110%		
木材利用及び木材産業体制等の整備推進	木材加工流通施設等の整備	地域材利用量(増加量・増加率)	354	千m³	H30	389 (35) (9.9%)	千m³	R5	512 (158) (44.6%)	132% (451%) (451%)	R5	R5県実績 R6.10.31
		素材生産量(目標値)	420	千m³	H30	574	千m³	R5	608	106%	R5	R5県実績 R6.10.31
	木質バイオマス利用促進施設の整備	地域材利用量(増加量・増加率)	354	千m³	H30	389 (35) (9.9%)	千m³	R5	512 (158) (44.6%)	132% (451%) (451%)	R5	R5県実績 R6.10.31
		木質バイオマス利用量(増加量)	80,940	t	H30	86,606 (5,666)	t	R5	189,067 (108,127)	218% (1,908%)	R5	R5県実績 R6.10.31

(注)

- 1 全体指標、現状値、目標値、単位については、事業計画の内容とすること。
- 2 達成率は、目標年度の実績／目標値とすること。
- 3 実績については、その調査方法と調査年月日を備考欄に記載すること。(別様可)
- 4 報告年度については、要領第6の2に基づくこと。
- 5 行については、適宜加除すること。

(2) 総合評価

計画主体の評価及び今後の課題とその解決策

目標	本事業により実施した目標の分析とその評価	今後の課題とその解決策
安定供給体制の整備推進	高性能林業機械の導入等を支援したことにより、林業経営体の素材生産量や素材生産性の向上が図られ、目標値を達成することが出来た。	林業経営体の数が減少する一方で、素材生産量は増加しており、1林業経営体当たりの素材生産量も増加している。 このことから、施業の集約化や林業生産性の向上を図るために、林業経営体へ高性能林業機械等の整備支援を行う。
森林資源の保護	林野火災発生時における迅速な消火体制整備のため、初期消火資機材の導入に取り組んだが、目標とした地区のうち1地区では近年の林野火災発生件数が減少傾向であることから要望がなく、目標達成には至らなかった。	岡山県における林野火災の発生原因は、たき火や枯れ草焼きなどの人為的な要因から山林への延焼が7割を占めており、その発生件数は、全国第3位(H25～R4合計)となっている。 このことから、県によるパトロールの強化や普及啓発による県民の林野火災予防意識の向上を図ることに加え、発生した際に延焼を防ぐ初期消火が最重要であることから、引き続き、本事業に取り組む必要がある。 このため、これまで事業に取り組んでいなかったが、近年、林野火災は件数が増加傾向となっている地区での取り組みを促進する。
林業経営体の育成	高性能林業機械の導入等を支援したことにより、林業経営体の素材生産量や素材生産性の向上が図られ、目標値を達成することが出来た。	林業経営体の数が減少する一方で、素材生産量は増加しており、1林業経営体当たりの素材生産量も増加している。 このことから、施業の集約化や林業生産性の向上を図るために、林業経営体へ林業機械のリース支援を行う。
木材利用及び木材産業体制等の整備推進	木材加工流通施設等の整備を実施したことにより、製材所等によって地域材利用量が増加したため、目標値を達成することができた。 また、木質バイオマス利用促進施設の整備を行ったことで、未利用材の活用が図られ、木質バイオマス利用量が増加した。	県内の製材所や住宅着工戸数が減少する一方で、地域材利用量は増加している。 このことから、引き続き木材加工流通施設等の整備支援を行う。 県内で建設予定である木質バイオマス発電施設等によって、今後も木質バイオマスの需要が増えていくと見込まれる。 このことから、引き続き、木質バイオマス供給施設等の支援を行う。

(注)

- 1 目標ごとに事業評価を分析したうえでその評価について記載するとともに、事業実施上明らかとなった今後の課題とその解決策を記載すること。
- 2 報告年度については、要領第6の2に基づくこと。
- 3 本表には、目標ごとに評価等を記載すること。
- 4 行については、適宜加除すること。